

幸福の科学学園の学校建設に反対する理由、学校設置計画に関する疑問
および次回説明会までの資料提出の要望について

2011年1月から2月にかけて各自治会対象に貴学園による説明会が開催されました。この間の住民説明会を終えて、貴学園の学校建設に対する疑問がますます深まっています。

つきましては、現在私たちが考える幸福の科学学園の学校建設に反対する理由を述べ、疑問点について提示いたしますのでご回答いただきますようお願いいたします。また、疑問を解くために必要な資料提出を要望いたします。次回説明会ではご準備いただきますようお願いいたします。

1. 学校建設に反対する理由および疑問

a. 学校設置計画の説明内容および手続きに関する社会的常識・倫理性について

<1>説明会の開催形態・告知方法に関して、自治会側が合同での説明会を求めているにもかかわらず、貴学園は個別の自治会単位で開催されました。説明会では自治会説明会によって内容の食い違いもあり、地域全体で情報を共有し、合意を得るためには合同の開催が必要だと考えます。自治会合同での開催をどうして拒否されるのか理解できません。一堂に会する場合の場所や時間設定を問題にされるなら、自治会合同で開催し、いくつかの場所・時間に分けて、自由に参加できるようにし、それぞれの議事録を公開する方法も考えられます。自治会合同による開催を拒否される理由は何でしょうか。

<2>説明会では「住民の皆さんが反対しても関係なく建てるとは言っていない」「全ての住民の皆さんが100%納得するまで建てないと言っていない」と言われました。何をもって合意とするかについてあいまい、もしくは無視しようとしてされているように思われます。地元住民の合意について、具体的に何%が納得すれば建てるともりなのかお教えてください。

<3>説明会后、東二丁目に送付されてきた文書で、学園は「これまでの説明会では対象地域でない方が参加され、説明を遮ったり、説明会そのものを妨害するような行為があった」と書かれていました。このような事実でないことを事実のように説明することに倫理性の欠如を感じます。説明会でそのような事実が本当にあったのでしょうか。どちらの説明会でどのような妨害する行為があったのかその事実をお示してください。

<4>説明会で、「皆さんの合意は反対で白紙撤回でしょ。それが合意でしょ、我々は建てたい、これをどこに接点を持って行くのですか」と開き直ったような発言をされました。このような発言を説明会でされる時点で誠意を感じられず、理解を得ようとしていると思えません。理解を得るためには何が必要だとお考えなのかお教えてください。

<5>会場や日程設定などで自らの不都合があると単位自治会の会長を名指しして、あたかも会長の責任のようにされました。会長宅を戸別訪問したり、説明会で会長を個人攻撃することは地域住民に恐怖感を与えています。

なぜ会長個人と会おうとし、都合が悪くなると個人を責めるような態度に出るのかお答えください。

<6>北大津まちづくりネットワークへの説明会を開催しないと明言され、その理由は「悪意を感じるから」と言われました。住民の多くが今回の計画を不安に思い、その住民たちでつくったのが北大津まちづくりネットワークです。そこと対話をしないのは逆に住民に対する悪意を感じます。北大津まちづくりネットワークに対して説明会をしない理由をお答えください。

<7>説明会では、私たち自治会の反対決議を取り下げろと言われました。学園が唐突に計画を突き付けて説明会を行っているのに、反対決議を取り下げれば、学園側が一旦計画を白紙に戻すのが筋だと思います。自分たち（学園側）は取り下げないけど住民の反対は取り下げろという常識の感覚が理解できません。反対決議を取り下げろといわれるなら計画を白紙にもどすべきではないでしょうか。

<8>住民が説明会で「那須校は山の中のゴルフ場跡地だが、今回はなぜ住宅の真ん中に建てる必要があるのか」と尋ねると、学園側は学校を建設される理念などだけを説明されました。住宅地の真ん中に建設する理由は説明されていません。またこの地域は住宅地でないと言われました。実際に住宅地に隣接しながら「住宅地で無いから構わないんだ」と説明されるのはなぜでしょうか。

<9>合意プロセスについて、これほど反対の声が多い中で、こういった形で地元の理解を得ようとしているのか疑問です。「法的には同意なく建設ができる」ということを学園側はよく説明されますが、同意や合意なしで無理やり押し切ろうというお考えなのでしょうか。

<10>大津市長は「よく地域のみなさんに説明をし、合意を得ることがいちばん望ましい」と言われています。それを学園側は「『合意』とはどのレベルを言っているのか」と話をすり替えて問題をこちらに投げかけていらっしゃいますが、学園側は市長の言葉をどのようにとらえられているのですか。

<11>大津市議会で住民との合意形成の環境を整える取り組み請願が採択されたにも関わらず、そのことを無視して建築関係の手続きが進められています。市議会での採択された請願を無視する社会的な倫理観が理解できません。市議会の採択をどのように尊重されるおつもりなのでしょうか。

<12>大規模な造成工事を行わない＝開発申請・許可が要らない形で建設計画が進められています。また開発行為にあたることを指摘されるとその図面を修正することによって、開発行為を回避し、住民への説明義務を逃れているように思えます。実際にはあれほど大規模な建設計画を行うにも関わらず、学校としての安全性を考えた上で、どうして開発行為による整備を行わないのかお教えてください。

また5区画中、2区画（駐車場用地、運動場用地）の計画が定かではありません。全体構想が定かでない状況での、建設工事の推進は、住民に対する理解上、即止めるべきだと考えます。学校施設の構想を全体計画として明らかにしてください。

<13>当初道路境界とのり面の形状等について正しい表記がされていなかったことについて、学園は、UR からもらった図面が間違っていたと釈明されました。住民がURに開示請求をすると、URは図面は正しいと言っており、ただ学園側が許可しないと公開できないと言っていることを聞きました。このことに私たち住民はと

ても不審に思っています。図面を開示しないのはなぜですか。

<14>説明会の際、那須校の栃木県私学連合加入について聞くと、「それは決まりました。昨日だったか、一昨日だったか。木曜日の私学連合」「全会一致で、賛成で、私学連合に対して、中高連に対して、入会させていただきました」「暗黙のルールがございまして、開校後、一年間の実績を見て（加入する）」と説明されました。しかし後に栃木県私学連合事務局へ確認をしたところ、加盟していない、1年たって加盟する云々についても、「そんなことは一切ありません、学校が出来てすぐに加盟できますよ」と事務局の方が明言されました。どうしてそのような虚偽の報告をされたのですか。

b. 幸福の科学グループの過去・現在の問題とその信用性について

<1>過去の献金強要訴訟で裁判所は、「違法性の高い献金懲罰手段であることは疑いを容れず」と判断をしています。『週刊ダイヤモンド』（11月13日号）によると、幸福の科学の収入は年間1700億円と推定されると書かれていますが、幸福の科学が現在どのような方法で収入を得ているのか疑問に思います。出版物での収入のほか、どのような手段でお金を集めているのか。献金の強要や悪霊払いなどの霊感商法的な集金方法はないのかお教えください。

<2>幸福の科学グループは過去に講談社などに対して週刊誌報道をめぐって、電話・ファックスの通信手段を麻痺させるなどの言論の自由に対する組織的な業務妨害を行いました。このことについて、反省もなく、マスコミの精神的公害に対する〈希望の革命〉と賞賛しています。今回の建設計画をめぐっても、このことを恐怖に思っ、住民の間で反対の意思を表明することを危惧する意見もあります。言論・表現の自由に対する教団グループの感覚はこの地域で共存する団体として不安を感じます。現在、教団への批判を行った講談社などに対して行った業務妨害をどのように反省されているのかお答えください。

<3>日刊カルト新聞（2011年2月17日）によれば、幸福の科学の見解として、フライデー事件は大川きょう子氏（霊）が指揮権によって教団をけしかけてフライデー事件を起こしたことにされています。週刊新潮（2011年2月3日号）で語っているきょう子氏（実物）は、「週刊新潮の記事で、フライデーの記事が出た際に隆法氏が怒って『これは教団の危機だ。マスコミ戦だ！』と宣言し、職員を集めて『フライデーを3日で廃刊にしよう！』とけしかけていた」と証言しています。しかし、この点に関して、幸福の科学グループ広報局は、フライデー事件について「総裁がそうした指示を出した事実はなく、捏造記事に公憤を感じた信者有志が自発的に抗議を行ったものです」と述べ、また異なったコメントしています。

幸福の科学グループに由来する主張がそれぞれ全く異なっており、グループの社会的信頼感は全く失われ、グループ総裁の責任が問われています。一般にはフライデー事件と呼ばれている教団の抗議行動で、講談社をはじめとする出版社への業務妨害行動などを指揮した責任者が誰なのか、証拠を提示の上、ご説明下さい。

<4>1995年に宇都宮市で宗教施設建設に対する反対運動があったときに、住民代表に対して、教団グループは名誉毀損等による損害賠償訴訟が行っています。マスコミばかりでなく住民に対しても、言論による批判を封殺するような訴訟を行う団体に恐怖を感じます。今回地元住民による質問に対して、今回は住民への訴訟を行わないと話されていますが、宇都宮市での訴訟をどのように反省されているのでしょうか。

<5>1997年に教団グループは山口広弁護士と信者に対して、8億円もの高額な損害賠償請求訴訟を起こしています。この裁判は「威嚇を目的とした訴訟」と裁判所が判断して教団側が敗訴されています。しかし、教団はこの裁判結果を「誤判」として反省もしていません。威嚇を目的とした裁判を起こす団体に対して同じ地域で生活をともにすることに不安を感じます。どうしてこの8億円訴訟もの法外な高額訴訟をして、敗訴したにも関わらず反省もされないのでしょうか。

<6>徳島県川島町では、教団が宗教施設建設を強行したことに対して、いまだに住民との対立があります。地域の自治会は分裂したままです。反対運動に対して看板撤去のために法外な損害賠償を求める通告書を示し、威嚇するような行為があったとも聞いています。そんな団体がこの街に拠点をもつことは許せません。どうして徳島県川島町では住民に対してそのような対応をされるのでしょうか。

<7>週刊新潮の記事によれば、教団の反対者に対する姿勢として、「悪妻封印祈願の唱和」、「悪魔が入っている」などの決めつけをされるとされています。また、関西に計画されている幸福の科学学校建設反対住民に対して、悪霊云々唱えましょうという祈願文が発信されて、信者に祈願させているという情報も聞いています。さらに、日刊カルト新聞のコメント欄には、匿名と称する信者らしき人により、「開校後の生活への影響で危惧されるのは、今の反対派の残党が問題を作り出してしまうことかな。」とか、「幸福の科学学園建設がどうしても嫌だったら引越したらいいじゃないですか？」などが書き込まれています。こうした、地元住民に対する威嚇あるいは反対者に対する攻撃的な姿勢について、教団グループとしての見解をご説明下さい。

c. 学園が行う教育の問題について

<1>幸福の科学中学・高等学校では、教職員やスクールカウンセラーも信者ばかりの環境で教育が行われています。まだ十分に自我が確立していない中学高校の生徒に、授業や放課後、宗教教義をいたる所で示し育てることは生徒の健全な育成について不安を感じます。そのような学校が私たちの家の近所にできることが住民として心配です。生徒が信仰を迷った場合などどのような手立てがあるのでしょうか。

<2>教員免許を持っていない人を職員として募集しているそうですが、教員免許を持っていない人は授業ができないことは当然のこととして、教員免許という一定のレベルを超えていない人が生徒の指導にあたること、しかもほとんどが寮生であり生活面においてもそういう人が指導にあたることに大変不安を感じます。教員免許を持たない人が生徒の指導にあたることがあるのでしょうか。

<3>那須校では信者以外からも願書が届き入学試験を受けていると説明されていますが、信者の保護者の宗教活動も評価しているとも聞きます。公共・公益性があるといい、信者以外にも門戸を開くというにも関わらず、受験者が信者であるか否かを調べる必要が無いのにも関わらず、信者の保護者の宗教活動まで評価することに公共性・公益性が認められると思われません。信者の保護者の宗教活動を入試の判定に加味しているのはなぜでしょうか。

<4>説明会で、学校法人の経営について、学費収入と別に寄附金が毎年数億円あると言われました。数々の問題を起こしている宗教法人が母体となってその寄附金に頼って運営する学園の成り行きが非常に不安です。URからの土地購入は学園の予算の段階での審査でした。1年を終えて学園の仮決算を終えている現在の財務状

況をご説明ください。

<5>本当に教育基本法と憲法に基づいて教育しているのか疑問です。宗教教育のテキストを公開しないことは不信の原因で宗派教育の域を超えた宗教的なマインドコントロールが行われているのではないかなど地元住民の不信はぬぐえません。宗教教育の教科書を渡せないのはなぜですか。

<6>教科書等の閲覧は可能だが、身分証明書を提示しろと言われます。身分証明書を提示しなければ閲覧できない教科書であることに非常に恐怖心を感じます。この恐怖心が誤解と言われるならば、不安を抱えている住民にすべてを無条件で開示すれば済むことです。「コピーされて撒かれたら困る」と言われるとますます不信になります。コピーされると困るのはどうしてですか。

<7>説明会で住民がコピーを提示した「やや日刊カルト新聞」でも「探究創造」の授業で特定の政党の政治教育を行っていることが指摘されていました。これが本当なら学校で政治教育をしていることになり、教育基本法に反することになり、不信を感じます。幸福実現党の政策をどのように授業で教えているのですか。

<8>説明会で、「授業で幸福実現党について教えていても、幸福実現党というのは、まだ政党ではない」から問題ないという意味のことを言われました。政党として結党し、実際に選挙に候補者を擁立し政治に参加しようとしていて、また そうし続けている幸福実現党が政党でないというのはごく普通に一般的に見て理解されません。どうして幸福実現党は政党ではないと言われるのかその根拠と考え方について説明してください。

<9>学園の副理事長と幸福実現党の総務会長が兼務をされています。特定の政党の総務会長をされている方が学園の副理事長として実質的に運営をされていることは、学園運営や教育の政治的中立性にとって、適切性を欠くと思います。どうして特定の政党の総務会長を学園の副理事長を兼務されているのですか。

<10>学園理事長の泉氏は、去る東京1区の衆議院選挙の演説において、「北朝鮮にレンジャー部隊を送り込む」とか「ミサイルUターンシステムがある」等と発言されていますが、主張の国際法上の正当性や科学的な根拠をお示し下さい。

d. 宗教と信仰の問題について、その他

<1>学校の施設を借りて宗教イベントをすることはないとはいわれますが、集まるのは生徒と父兄のみと言えないと思います。那須校では幸福の科学の大川総裁やその他の宗教法人の幹部が来学されていると聞きました。宗教施設を作らないと言われますが、講堂を使ってそのような方を招く宗教イベントを開催すれば宗教施設を建てたと同じではありませんか。

<2>余った場所に宗教施設が出来るとか、何年か経ったら宗教施設に転用されることはないと言われます。教団は大川総裁の霊言で方針が決まるようですので、大川総裁の一言で覆るのではないかと住民は非常に不安に思っています。宗教施設に転用しないのなからその証明をどのように示されるのですか。

<3>週刊誌で大川氏と夫人の裁判のことが書かれています。教団は「愛と反省」という言葉を使われますが、そ

れを解く大川氏にあのような問題が家庭内で起こり、教団を巻き込んで公開霊言で悪霊払いなどが行われていると報道されています。そのような常識では考えられないことが行われている教団グループがつくる学校には不信を感じます。週刊誌の報道は何が真実で、何が真実でないのかをご説明ください。

<4>大川夫人の霊を呼ぶ公開霊言に大川氏の子供が出ていると聞きました。子供を公開霊言に利用する倫理観について疑問に思います。大川氏は夫人の悪魔を呼ぶ公開霊言で本当に自分の子どもを利用されたのでしょうか。

<5>学園は説明会で住民に「立命館ならかまわない、幸福の科学だからだめだといわれた」と言われ、宗教差別を受けているように言われました。私たちは宗教の教義を区別しているのではなく、これまでの歴史を見ているのです。立命館や近接する大谷学園がこれまで幸福の科学が週刊誌に叩かれたような種類のスキャンダルがあったのでしょうか。歴史が浅く、その浅い歴史の中にも訴訟問題をいくつも抱えている幸福の科学が母体の幸福の科学学園だから学校をこの仰木の里の街中に設置するのに反対だと言っています。宗教だから差別していると思われる根拠をお示しください。

<6>幸福の科学は信者が1千万人いると言われますがその根拠は何でしょうか。1千万人という事は日本の人口の12~3人に1人が信者であることになりませんが、私たちの周りでどういそれだけの信者を見たことはありません。信者が1千万人もいると発言されているのですから、これが根拠のない数字であった場合は住民の信用を得るために誇大な数字を提示し理解を得ようとしたことになりそうです。どういった統計のもとに主張されているのかその根拠をお示しください。

<7>生徒による布教活動は行わないように指導するとのことですが、生徒個人が放課後や休日に学校外で活動することにも考えられます。生徒個人の宗教活動を教師が指導するという事になれば、学園が生徒の信仰の自由を制限することになるし、指導しないのであれば、私たちは町内で布教活動をされることを大変迷惑に感じます。地域特性上、この地域には幼い子供が多いのです。その判断能力の無い子供たちが、判断能力のない中学高校生信者に勧誘されることが危惧され、不安・恐怖はかなりのものです。生徒が布教活動を行わないように指導する内容をご説明ください。

<8>前回の説明会で、オウム真理教の話が出た際、「東京上空からヘリコプターでサリンを撒こうとしたのを止めようとしたのは『幸福の科学』だというのは、ご存じないですね？」と言われました。ではなぜ幸福の科学はオウムのその計画を知っていたのか説明してください。私たちは幸福の科学がオウム真理教と同じとまでは思っていませんでしたが、この発言でますます不信になり非常に怖い団体だと感じました。経緯をすべて詳細に説明してください。

なお、この間の住民説明会、住民集会を経ても、この文書で反対理由のすべてを書ききれないと思っています。反対理由は住民の人数だけあります。私たちはこの仰木の里の住民として、暮らしている家族の事情、暮らしへの思い、それぞれの生き方・考え方が違うように、反対理由もまったく同じではありません。しかし、住民説明会に参加した住民が共通して思うことは、貴学園およびそのグループが信用できる団体と思えないことです。この点を払拭していただくためにもすべての今回示した反対理由およびその疑問に誠実にお答えいただくようお願いいたします。

また、以下に示す資料もこれら疑問を解くために必要不可欠のもので、必ずご提出いただきますようお願いいたします。

2. 次回説明会までにご提出いただきたい資料について

<1> 徳島県川島町での宗教施設建設と住民への対応記録を私たちに渡すこと。

平成15年から現在に至るまでに幸福の科学が住民に対して行ったすべての事実を明らかにし、証明する資料を提出すること。その際には撤去しようとした住民の看板の内容、撤去した方法、住民への通告書、住民が警察・検察に取り調べを受けるに至った経緯、川島支部周辺の地図と駐車場の場所、土日や7のつく日に訪問する信者の数等、すべてを明らかにしてください。

<2> 『週刊文春』(2月3日号)などで報道された大川夫人を呼び出した公開霊言についての資料を開示すること。

母親を悪魔扱いする公開霊言が実際に行われたのかどうか、その際こどもが公開言談に登場し、週刊誌のような発言をしたのかどうか、全国の精舎などで放送されたビデオを提示すること。

<3> 宗教教育のテキストを提出すること。

前回説明会でコピーされると困ると説明されたテキストを私たちにください。

<4> 「探究創造」の授業でこれまで使用されたすべての資料を提出すること。

「探究創造」の授業で特定の政党の政治教育を行っていることが指摘されていますが、その授業の時間だけでなくすべての授業の時間で使われたテキストや資料をお渡してください。

<5> URから入手した測量図面を提出すること。

当初URから渡された図面が間違っていたので、私たちに見せた図面が実際と異なっていたとの説明でした。URが当初渡した測量図面を私たちにお渡してください。

<6> 那須校の生徒の1か月の24時間のスケジュールを示すこと。

生徒がどのような環境で一日生活しているのかがわかるような記録をお示してください。

授業時間だけでなく、起床から就寝まで、放課後の時間を含めたスケジュールでご説明ください。

<7> 清水建設に依頼し、昨年実施したボーリング調査結果(地盤調査報告書に準ずる書類)および敷地現況測量図について提出すること。

先日発生した東日本大震災を受け、各地で防災上の安全再確認が進んでいます。建設予定地が学校建設用地としてふさわしい場所であるのかどうか、周辺地域が安全で安心して居住できる環境にあるのかを心配しております。今回の建設計画についても震災等の発生に対する影響など防災上の安全確認の観点からご説明ください。

<8> 学園の3月仮決算段階での2010年度の消費収支計算書、資金収支計算書、貸借対照表および2011年度の消費収支予算書を提出すること。